

NO. 2 4 2 5 2025. 1. 1

編集発行 日本共産党鶴岡市議団

鶴岡市美原町16-5 電話22-3313

無料生活相談所

関 徹 長者町11-26 24-2414

菅 井 巌 中 楯 9 6 33-0534

長谷川 剛 日枝坂本43-10 41-9148

坂 本 昌 栄 稲生2-33-47 24-5993

加 藤 鉱 一 宝徳仲田56

64 - 3941

新つるおかHP

実を訴えていきます。 対策は子育て インフラとサ

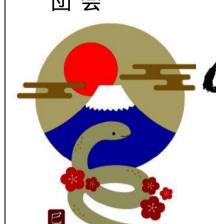
ービス充 教育の

7

災

二〇二五年 元旦

日本共産党鶴岡市議団 日本共産党鶴岡地区委員会



新年の抱負 決意

選挙と市議会議員選挙が行われます。 今年は10月に、 任期満了に伴う鶴岡市長

意を掲載します。 日本共産党鶴岡市議団の新年の抱負・決

菅井 髙温被害への対応な 気候危機による大雨・ て相次ぐ地震災害や、 の居場所の確保、そし を抱える子どもたち・ が寄せられています。 地方自治体の根幹、 髙齢者・低所得者など 上がらない年金、困難 非正規雇用と低賃金、 物価高騰に苦悩の声 生活相談を通じて 巌議員

> 感しています。 を守る事が何よりも求 民の命と暮らし・福祉 ために引き続き奮闘し 政に届け、課題解決の められていることを体 住民の身近な声を市

地方の衰退など「失わ 非正規雇用の増大、

長谷川剛議員 れた30年」と言われ、

員·長谷川剛議員(鶴岡市議会本会議場)

登半島地震や日航機と 坂本昌栄議員 昨年は新年早々、

りません。

ない。その声が衆議院 で与党を少数に追い込 いてはまともに暮らせ

た「裏金」を発端に、 が多数の世論となりま 企業・団体献金の禁止

度も否決された請願が 採択されました。 市政でも、過去に何

協のノーベル平和賞受 目の年です。日本被団 う多くの人達と運動を 今年は戦後80年の節

ものは未来に生きる。 年、正義と道理に立つ 革に踏み出す1年。 力で頑張ります いを実現する本当の改 市民と国民多数の願

少子化に歯止めがかか

た。「『政治とカネ』の

援する」と表明しまし

みました。 自民党政治を続けて

した。

確認して支援を決定。

く変わらない」と固く

「知事はこれまでと全

役割をヒシヒシと感じ 県政を前に進める党の

運動の勝利です。 諦めずに訴えてきた

励ましました。 党創立から103 核兵器廃絶を願

能

しんぶん赤旗が暴い

加藤鉱一議員

通じて、 自治振興会・コミセン 員として、監査業務を りに学んできました。 の役職員の苦労と頑張 議会選出の市監査委 各課の職員や

> 事を改めて確認した年 動が社会を前に進める

でもありました。

約のしわ寄せ、職員は 衰退を止めて、 の鶴岡市20周年です。 ないなどが課題です。 行革の行き過ぎで足り 持修繕費は一般財源節 金があって進むが、 今年は、 周辺部のこれ以上の 新規事業は国の補助 平成大合併

月には鶴岡市で豪雨災 海保機の衝突炎上、

害に見舞われる等、 の米騒動」で困難を極 騰・燃料高騰や「令和 害も多い年でした。 市民生活は、物価高

頑張ってまいります。 む政治を変えるために 社会保障の削減を行 軍拡路線を突き進

選挙で吉村知事を「支

り添って、より暮らし 実、市民一人一人に寄 確保、高齢者に寄り添 ず輝き続けられるよう になるよう奮闘して参 やすく心地よい鶴岡市 った介護・医療の充 な学校生活や居場所の 子どもの笑顔が絶やさ 鶴岡市においては、

良く利用したいという

てないから知事を都合

りますから」等々、 選など)各種選挙があ 問題もあり・・」「(参院

魂胆が露わです。

▽共産党は知事陣営と

現する1年とすること 談相手として要望を実 東し、市民の身近な相 を決意します。 市議団4人の力を結

拡がりました。国民運 平和賞受賞にも感動が 政権過半数割れで政治 ▽同時に昨年は、自公 た。被団協のノーベル ています。 が大きく動き出しまし

ど、どうぞ宜しくお願 もご支持ご指導のほ 私自身もチャレンジし されます。新しい政治 ▽巳年は、「復活と再 続ける年にする所存で に向かって進むため、 新しい事が始まる年と 生」。古い殻がとれ、 い致します。 頑張ります。



めた年でもありまし

2024年12月議会 替否が分かれた議案 (○替成 ●反対)

							し兵派																			
	声	Ī	SDG		フォ		共産		主党	党リ		、 希		望公		明党		創政				クラブ				
	遠藤初子	進	田中宏		清		長谷川剛	坂本昌栄	菅井 巌	加藤鉱一	本間信一	阿部寛	中沢深雪	佐藤麻里	秋葉雄	正	黒井浩之	佐藤博幸	佐藤久樹	本間正芳	佐藤昌哉	五十嵐一彦	野由	本間新兵衛	渋谷耕一	尾形昌彦
「石井清則議員に対し猛省と責任の自覚 を促す決議」	•	•	•	•	退				•	•			•	•	•	•	•	0	0	0	0	0	0	0	0	議長
「刑事訴訟法の『再審規定』の改正を求める意見書提出に関する請願」/意見書	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		•	•	•				•	•	•	•	
「核兵器禁止条約の署名·批准を国に求める意見書提出に関する請願」	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	•	欠	欠	欠	•	•	•	•	•	•	•	•	
「産業廃棄物焼却処理施設計画の見直しをしない限り、県は認可をしないことを求める意見書提出に関する請願」/ 意見書	0	0	0	0	•		0	0	0	0			•	•	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

※「核兵器禁止条約の~請願」は可否同数となり、議長裁決で不採択

賛成討論は、

坂本昌

栄議員と遠藤初子議

田中宏議員、

に欠席)。

りました

(公明は採決

議長裁決で不採択とな

でした。 麻里議員と工藤博議員 が対立した請願に、 れました。 貝、反対討論は、 一議員と草島進 事業者と住民の利害 賛成討論は、

され、意見書が可決さ 対6の賛成多数で採択 埋施設計画の見直しの 少数に追い込むまであ 「産業廃棄物焼却処 反 建築課入札結果 () 内は予定価格

請願」は、

賛成19、

と一歩となりました。

の立場に立つ勢力を、

アメリカの「核の傘」

12月19日入札分

一議員でした。

博議員、反対討論は

本間信一議員と渋谷耕

- ・市本庁舎1階トイレブース改修工事 不調
- 南部保育園発達支援室玄関設置工事 不調
- ・市本庁舎1階トイレ洋式化工事(馬場町9番25号)(入札4業者) (有)冷熱設備今野 2,600,000円 (2,670,000円) 工期 $\sim 7/3/21$ (落札率97,38%)

水道課入札結果() 内は予定価格

12月17日入札分

・茅原町地内径100粍配水管新設工事(茅原町地内)(入札6業者うち2 業者辞退)

(有)山東設備 14,400,000円 (14,690,000円) 工期~7/3/28 (落札率98.03%)

荘内病院管理課入札結果())内は予定価格

11月5日入札分

・市立荘内病院 手術室フィルタ更新工事 (随契) イワコー(株) 8,200,000円 (8,210,000円) 工期~7/3/5 (落札率99.88%) 起クー 補正予算は、 場が問われました。 追加提案の一般会計

千円を追加し、 員給与改定増額分3億

2000円分の消費喚 5906万3千円、 -ポン券事業2億 市民1人

6318万2千円な 額を797億1052 万3千円としました。 11億3694万4 予算総

はたやま

択され、

意見書が可決

反対11の賛成多数で採

署名・批准に関する請

賛成11、

反対

「核兵器禁止条約の

る請願」は、

賛成14、

審規定』の改正に関す

2025年参議院選挙の比例候補として発表された、 はたやま和也です。

私は、宮城県石巻市で生まれました。食堂の息子 として育ち、夜遅くまで働く両親を間近で見て育ち ました。宮城教育大学を卒業後、北海道で中学校教 諭を務めました。どの子どもたちも、平和な社会で 健やかに育つことができるようにと日本共産党の専 従職員になり、2007年から国政候補として活動を始 めました。2014年には衆院北海道比例ブロックで初 当選し、衆院議員を1期務めました。

これまで紙智子参議院議員が、農林漁業支援や震 災災害対策、くらし・社会保障・平和などの課題で かけがえのない役割を果たしてきました。しっかり 議席を引き継ぎ、全国で比例候補5人全員が当選でき れば、新しい政治へ進められることは間違いありま せん。

日本共産党には、それだけの力があります。その 大もとの力は、党員・後援会員のみなさんです。東 北のみなさんと一緒に私も力を尽くします。



案どおり、全会一致で

ん罪被害者の早期救済 袴田巌事件など、

え

過去に不採択され

可決承認されました。

「刑事訴訟法の『再

た請願の歴史的な採択

となりました。

件を含め、

計26件が原

提案された補正予算1

浩之議員でした。

五十嵐一彦議員と黒井

市当局提案の議案

雪議員、

反対討論は、

草島進一議員、中沢深 剛議員と南波純議員、

議会最終日に追加

会は20日、

閉会しまし

鶴岡市議会12月定例

賛成討論は、

長谷川

12月議会閉会 核兵器禁止条約にあと一歩

000

先の総選挙では裏金問題が大争点となり「自公が 過半数割れ」という劇的な結果となりました。この 新しいチャンスの時に東北の議席を失い、国会で働 くことができないことは悔しくてたまりません。そ う遅くないと思われる次の総選挙で必ず議席を奪還 するため、全力で頑張ります。

来る参議院選挙は、参院でも少数与党に追い込み、 新しい政治を勝ち取る選挙です。日本共産党は650 万の得票で比例5人の絶対勝利を呼びかけています。

東北は、紙智子参議院議員から、はたやま和也元衆 議院議員に交代を果たす選挙です。宮城県出身、北 海道で活動してきたはたやまさんは、私とともに震 災復興特別委員として被災地を回った経験もあり、 広い北海道で農林水産業、地域交通や地域医療、地 域経済守るために奮闘してきた即戦力、最良の候補 者です。

5人のベストチーム全員当選のために、衆院選に 倍する奮闘、650万の得票が必要です。私も一緒に 頑張ります。

日本共産党東北ブロックニュースNO.168号(2025年1・2月号外)から